

事前の備えが あなたや家族の運命を 変えるかもしれません

4 災害時にすぐ対応するには？ 情報を備える！

市では、災害発生時に必要な情報を届けられるよう、テレビやラジオだけでなくさまざまな情報伝達手段を用いて情報発信を行います。必要な情報が必要な時にすぐ利用できる状態にしておきましょう。

☎ 危機管理室 (☎228-7605 FAX222-7339)

Twitter

危機管理室では、Twitterで災害発生時は被害や支援の情報、通常は防災啓発情報などを発信しています。



その他、さまざまな情報伝達手段を紹介しています。詳しくは市ホームページへ



戸別避難情報配信システム

土砂災害(特別)警戒区域や急傾斜地崩壊危険箇所にお住まいの方には、電話や電子メールで避難の呼びかけを行います。

利用には登録が必要です。登録は危機管理室(☎228-7605)へ電話するか、reg@kikikanri.city.sakai.osaka.jpに空メールを送信してください。

緊急速報メール(土砂災害)

土砂災害により避難が必要な場合、防災スピーカーや市ホームページ、SNSなどでこれまでお知らせしてきました。これらに加え、市内で土砂災害の可能性が高い、中・東・南区で、緊急速報メール(エリアメール)でもお知らせし、避難を呼びかけます。

緊急速報メール 災害・避難情報などの緊急情報を配信対象エリアの携帯電話に一斉に配信されるサービス。

9月1日から 運用開始!

5 安全な場所って? 避難に備える!



危機管理室職員

自宅や周辺の災害リスクを事前にチェックして、避難すべき場所か確認することが大切です。避難の際にも強風にあおられる、水路に流されるなどの危険性があります。自宅に留まることも含めて想定し、一番安全な方法をとってください。市が指定する避難所へ行くことだけが、避難行動ではありません。屋内の安全な場所に避難することや、友人・知人宅へ避難するなど、さまざまな避難行動があります。災害時、自分の状況次第で安全な避難方法は変わります。避難所以外にも避難できる場所や方法など、日ごろからいろんな選択肢を想定してください。

台風が近づいてきて、大雨が降りそうな予報の場合、避難所に避難した方が良いのでしょうか? 避難場所が、遠い場合や夜、暗い場合はどうしたら良いの?



9月3日(金) いざ訓練! 本当に避難できますか?

大阪880万訓練
Osaka 8.8million drill

13時30分から屋外スピーカー、Twitter、ヤフー防災速報などの合図で訓練を開始します。なお、津波の影響が想定されるエリアにはサイレンを鳴らします。13時33分には大津波警報情報を、13時35分には大津波警報に伴う避難指示情報を市内全域にエリアメール・緊急速報メールで発信します。この機会に自分が災害時に、どのように行動するか想定しましょう。

停電に備える!

災害時など大規模な停電が発生した際に、停電の状況や復旧の見通しなどが「関西停電情報」アプリで確認できます。ダウンロードは各アプリストアで。



iPhone用



Android用

貯水槽を利用し、給水しているマンションなど集合住宅は、停電時は貯水槽に水を送るポンプが作動せず、断水します。非常用自家発電を備えるなどの集合住宅の対策や、飲料用やトイレ用の水を備蓄するなど、各家庭での対策を行ってください。

☎ 上下水道局お客様センター (☎0570-02-1132<ナビダイヤル> ☎251-1132 FAX252-4132)

避難所の電力供給について 大阪地区トヨタ各社と協定

昨年8月に災害時の電力供給について協定を締結しました。停電時の避難所で、ハイブリッド車などの貸し出しにより電力の供給を受けることで、地震や風水害などによる大規模停電に備えます。

☎ 危機管理室



建物や住宅の備え 地震への備えも忘れずに

8月30日~9月5日は建築物防災週間です。避難経路の確保や、外壁・設備が劣化していないかなどを確認・点検しましょう。市では耐震診断や耐震改修、ブロック塀の撤去に関する補助など、さまざまな支援を行っています。

☎ 建築防災推進課 (☎228-7482 FAX228-7854)

詳しくは市ホームページへ



●会話の際は必ずマスクを着用し、つばが飛び交う状況を避けましょう。